



個々に記載されている外観および仕様は、予告なしに変更することがあります。
カタログ・取扱説明書の内容と多少異なる場合もありますのでご了承ください。

注) ◆で示された商品は該当するセット販売品のみに同梱されています。

- ⚠ **危険** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
- ⚠ **警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
- ⚠ **注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

 記号は、注意（危険、警告を含む）を促す内容を意味しています。
 図の中や近くに具体的な注意内容が記載されています。

 記号は、禁止（してはならないこと）の行為を意味しています。
 図の中や近くに具体的な禁止内容が記載されています。

 記号は、行為を強制すること（必ずすること）を意味しています。
 図の中や近くに具体的な強制内容が記載されています。

◇ガラスや白い壁面など、反射率の高い物質にレーザーラインが反射するので注意すること。

◇レシーバーを蛍光灯や LED 照明器具の周辺でご使用の場合、誤作動やレーザー光に反応しない場合がありますのでご注意ください。

◇長距離での受光など、受光状態が悪い場合は追尾性能にも悪影響を及ぼします。

◇本機は弊社指定のオートラインレーザー本体でご使用ください。
レーザー光の色や波長により使用できるレシーバーが異なります。

保証書

機種名	TRC-1	LRV-5RGT
機種番		
保証期間	ご購入日より1年間	
ご記入欄	お客様	フリガナ お名前
		TEL：() —
		ご住所 〒 —
	販売店様	販売店様名 / ご住所
		TEL：() —
販売日： 年 月 日		

作 業 範 囲	3m ～ 20m
追尾時間（目安）	約 20 秒
電 源	単 4 形アルカリ乾電池 3 本
連 続 動 作 時 間	約 3.5 時間（500 回）
動 作 温 度 範 囲	0℃～+ 40℃
防 塵 ・ 防 滴	IP54
本 体 寸 法	Φ 112 x 129 mm
本 体 重 量	約 1.2kg（電池含む）

検出動作範囲	3～25m ※ご使用になる測定位置、作業環境、オートラインレーザー本体によりこととなります。
受 光 表 示	赤色 LED (上下 2 個) 青色 LED (中央 1 個)
中心検出表示	青色 LED 点灯およびブザー連続音によりお知らせ
精 度	レーザーラインの中心から± 1.5mm 以内
防 塵 ・ 防 滴	IP54
電 源	単 4 アルカリ乾電池 4 本
オートパワーオフ時間	約 10 分 (手動での電源オフも可)
連続動作時間	約 30 時間
動作温度範囲	0℃～+ 40℃
サ イ ズ	152 x 72 x 28 mm
重量 (電池含む)	約 200g

無線周波数	2.4GHz
通信距離	約20m
認証番号	001-P01553



001-P01553

LRV-SRGT

ムラテックKDS株式会社


 001-P01553
 LRV-5RGT
 ムラテックKDS株式会社

1. この保証は製品を新品でご購入された場合に限り有効です。中古販売品やリサイクル品は対象外です。
2. 本製品が取扱説明書等に従う正常な使用状態において故障した場合は、ご購入日より1年間無償修理致します。
3. 保証期間内に故障して修理を受けられる場合は製品と保証書をご用意頂き、お買い求めの販売店様またはムラテック KDS までお問い合わせ窓口（TEL：0120-25-5548）までご依頼ください。
4. 保証期間内でも次の場合は有償になります。
 - a) 誤用、乱用、取扱い不注意による損傷及び故障の場合
 - b) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、戦争、異常電圧による損傷及び故障の場合
 - c) 不適当な修理や改造による損傷及び故障の場合
 - d) 保証書の提示がない場合。また記入漏れ、保証書の内容を書き換えられた場合
 - e) 前記以外で弊社の責に帰することのできない原因により生じた損傷及び故障の場合
5. 本製品に関する保証は前記の範囲に限ります。
本製品に関連して生じた付属的損害（お客様および第三者の経済的損害、逸失利益など）の補償には応じかねます。
6. 保証書は再発行いたしません。また本製品の保証は日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan.

総輸入販売元
ムラテックKDS株式会社
<https://muratec-kds.jp/>

お問い合わせは
ムラテックKDS株式会社 CSセンター
TEL : 0120-34-2381 FAX : 0120-34-2382
〒525-0044 滋賀県草津市岡本町大谷 1000-18

 警告	
 分解禁止	分解、改造をしないこと 火災・感電・やけどの原因となります。
 見ないこと	受光時にレーザーを直接見つめないこと 失明や、視力障害の原因となります。
 使用禁止	引火、爆発の恐れがある場所で使用しないこと プロパンガス、ガソリンなど火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると爆発や火災の原因となります。
 保管注意	幼児または子供の手が届かないところに保管すること ケガの原因となります。
 電池を取る	熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、速やかに電池を取り出すこと そのまま使用すると、火災、やけどの原因となります。 電池を取り出す際、やけどに十分注意してください。 電池を抜いて、お買い求めの販売店またはムラテックKDS CS センターに修理を依頼してください。
 すぐに修理依頼を	

 注意	
 磁気注意	マグネットアダプターを磁気 データ媒体や磁気に敏感な 装置に近づけないこと マグネットの作用によりデー タ消失につながる恐れがあり ます。

 注意	
 禁止	キャリングバッグのベルト、ハンドルが傷んでいたら本体を収納しないこと 本体やバッグが落下してケガの原因となります。
 移動注意	本機にレーザー墨出し器を取り付けたまま移動しないこと 落下したりぶつけたりして、ケガの原因になることがあります。
 取扱い注意	本機を落としたり倒したりしないこと 衝撃や振動で精度が低下する原因となります。
 放置禁止	窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないこと バッグや内部の部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
 電池確認	長時間使用しないときは電池を取り外すこと 電池の液漏れにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因となります。
 取付確認	本機を三脚に取り付けるときは、三脚取付ネジで確実に取り付けること 本機が落下して、ケガの原因になります。
 移動注意	三脚を持ち運ぶときは、脚を確実にロックすること ケガの原因になります。
 禁止	三脚の石突きを人に向けて持ち運ばないこと ケガの原因になることがあります。

⚠ 注意	
❗ ロック確認	本機をのせた三脚は、脚を完全にロックすること 三脚が倒れ、ケガの原因になります。
❗ 移動注意	三脚を立てるときは、脚もとに人の手・足がないことを確認すること ケガの原因になります。
無線通信に関するご注意	
⚠ 警告	
🚫 禁止	電波使用を禁止された区域での使用は避けてください
❗ 取扱注意	電波を利用しているため、周辺の環境や使用されている機器（無線 LAN、テレビ、ラジオ、電子レンジ等）によって通信状況が悪くなる場合があります。
⚠ 注意	
❗ 取扱注意	周囲の機器にノイズ等の影響を与える場合があります ラジオやテレビにノイズが発生した場合は、周辺での使用は避けてください。
🚫 禁止	本機を使用する際に無線局の免許は必要ありません 電波法に基づき認証を受けています。 ただし本機を分解／改造したり、証明ラベルは剥がさないでください。
🚫 禁止	国外では使用しないでください 本機は電波法より日本国内でのみ使用を認められています。

無線通信に関するご注意

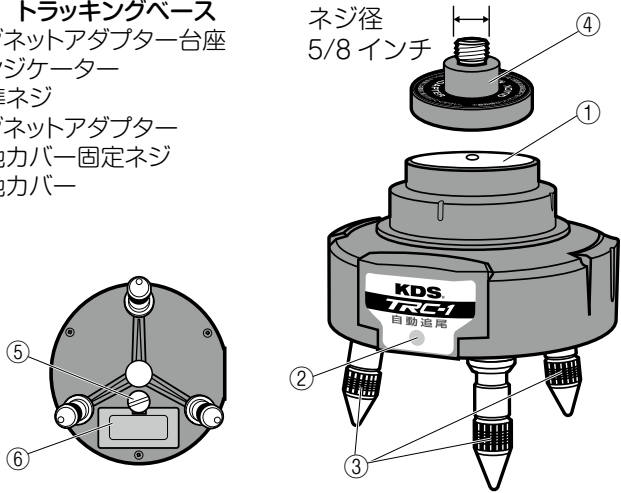
 警告	
 禁 止	電波使用を禁止された区域での使用は避けてください
 取 注 意	電波を利用しているため、周辺の環境や使用されている機器（無線 LAN、テレビ、ラジオ、電子レンジ等）によって通信状況が悪くなる場合があります。
 注意	
 取 注 意	周囲の機器にノイズ等の影響を与える場合があります ラジオやテレビにノイズが発生した場合は、周辺での使用は避けてください。
 禁 止	本機を使用する際に無線局の免許は必要ありません 電波法に基づく認証を受けています。 ただし本機を分解／改造したり、証明ラベルは剥がさないでください。

1. 各部の名称と機能

1.1 各部の名称

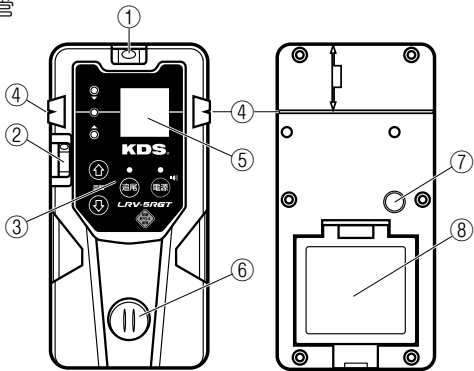
1.1.1 トラッキングベース

- ①マグネットアダプター台座
- ②インジケーター
- ③整準ネジ
- ④マグネットアダプター
- ⑤電池カバー固定ネジ
- ⑥電池カバー



1.1.2 レーザーレシーバー

- ①水平ライン用気泡管
- ②たちライン用気泡管
- ③操作パネル
- ④けがきガイド
- ⑤受光部
- ⑥ブザー
- ⑦レシーバークランプ取付用ネジ
- ⑧電池カバー

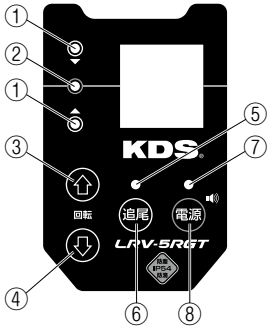


1.1.3 操作パネル

- ①レシーバー移動方向指示ランプ
- ②中心検出ランプ
- ③回転スイッチ（反時計回り*）
- ④回転スイッチ（時計回り*）

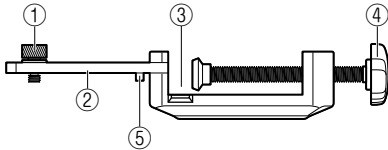
*リモコンとして使用時
追尾機能使用時はレシーバーの向きに関係なく、矢印の方向へ回転します。

- ⑤追尾ランプ
- ⑥追尾スイッチ
- ⑦電源ランプ
- ⑧電源スイッチ（ブザー音変更）
電源 ON 時、電源スイッチを押すたびに
ブザー音量が大(ピピピッ)→小(プププッ)
→無音へ切り替わります。



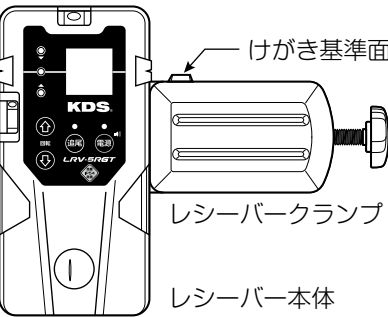
1.1.4 レシーバークランプ

- ①レシーバー取付ネジ
- ②レシーバー取付部
- ③スタッフ取付部
- ④スタッフ固定つまみ
- ⑤レシーバー位置決めピン



レシーバーへの取付方法

レシーバー取付部の左右2本のレシーバー位置決めピンをレシーバー本体に差し込み、レシーバー取付ネジで右図のようにクランプに取り付けます。



スタッフはスタッフ取付部に挿入し、スタッフ固定つまみでしっかりと固定してください。

2.4 トラッキングベースとレシーバーのペアリング設定

トラッキングベースかレシーバーのどちらかを買い替えた場合や、通信ができなくなった場合はペアリングが必要になります。

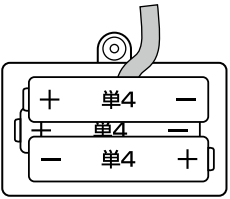
1. トラッキングベースの電池を取り出して 1 分間そのままの状態にします。
2. レシーバーの電源 OFF 状態から回転スイッチを 2 つとも押しながら、電源ボタンを長押しします。電源ランプと追尾ランプが交互に点滅します。
3. 電源ランプと追尾ランプが交互に点滅している間にトラッキングベースの電池を入れてください。電池を入れるとレシーバーのブザー音が鳴りインジケーターが点灯しトラッキングベースのモーターが作動します。
4. モーターが停止し、電源が自動的に OFF になるとペアリングが完了します。（インジケーター消灯）

3. 電源について

トラッキングベースとレシーバーはアルカリ乾電池のみお使いいただけます。ニッケル水素充電電池は使えません。電池の銘柄、製造日からの保存期間、使用温度により電池性能に差があるため、動作時間が短い場合があります。

3.1 トラッキングベースの電池交換

1. 電池カバー固定ネジを回してゆるめ、電池カバーを外します。
2. 使用済みの電池を取り出し、新しい電池と交換します。電池を入れるときは下図を参照してひもを底に通し、電池は極性を間違わないように注意してください。
3. 電池カバーをもとに戻し、固定ネジでしっかりと固定します。
4. インジケーターが点滅し、モーターが初期動作の確認を行います。インジケーターが自動的に消灯すると電池交換終了です。

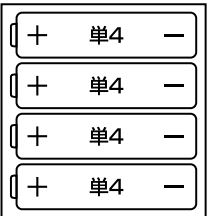


⚠ 注意

- ・電池ボックスに付いているひもは必ず電池の下を通してください。ひもがないと電池が大変取り出しにくくなります。
- ・電池の消耗を防ぐため、作業終了後は電池ボックスから電池を取り出してください。電源 OFF でも電池を消耗してしまいます。

3.2 レシーバーの電池交換

1. 電池カバー下部のフックを押し上げて開けます。
2. 使用済みの電池を取り出し、新しい電池と交換します。電池を入れるときは右図を参照して電池の極性を間違わないように注意してください。
3. 電池カバーを閉じます。



⚠ 注意

- ・電池交換の際はすべて新しい乾電池に交換してください。
- ・充電電池は使用しないでください。
- ・長時間ご使用にならないときは、電池を本体から取り出してください。

1.2 主な機能

1. 追尾機能
レシーバーで操作する追尾機能によりたち（縦）ラインの地墨合わせが 1 人で簡単に行えます。
2. レシーバー
レシーバーだけでも、通常のレシーバーとして使用していただけます。
3. 防塵・防滴
IP54 対応です。
IP54 は、外来固形物に対する保護等級が 5 で、防塵形を意味し、器具の所定の動作および安全性を阻害する量の塵埃（ちりやほこり）の進入から保護されていることを示します。また、水の進入に対する保護等級が 4 で防まつ形を意味し、いかなる方向からの飛沫（しぶき）を受けても有害な影響のないことを示します。
4. 電池残量（ローバッテリー）警告表示
トラッキングベースは電池残量が少なくなると、インジケーターが緑色から赤色点滅に変わります。レシーバーは電源ランプが点滅します。すべて新しい電池に取り換えてください

2. 操作方法

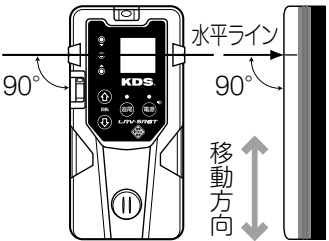
2.1 電源 ON/OFF

1. レシーバーの電源ボタンを長押しします。ピピピーッとブザー音が鳴り、電源ランプが赤色に点灯します。レシーバー移動方向指示ランプと中心検出ランプも一度点灯します。
2. レシーバーの追尾ボタンを長押しします。ピピッとブザー音が鳴り、トラッキングベースの電源が ON になります。トラッキングベースのインジケーターが緑色に点滅し、モーター位置を自動で調整します。
3. 調整が終了するとインジケーターが点滅から点灯に変わります。
* オートラインレーザー本体側も屋内 / 屋外（受光器）モードの設定を行ってください。
4. レシーバーの電源ボタンを長押しすると、レシーバーとトラッキングベースの電源が切れます。

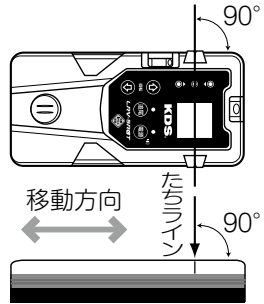
4. レシーバーの操作方法

1. オートラインレーザー本体の電源を入れ、水平（横）またはたち（縦）ラインスイッチを押して希望するラインを選択します。オートラインレーザー本体も屋外（受光器）モードに設定します。
2. レシーバーの電源スイッチを長押しし、ON にします。ブザーが鳴り、電源ランプが赤色に点灯します。
3. レシーバーをレーザー光に向けて受光します。下図を参考にしてレーザー光が基準線と平行で受光面に 90°で当たるようにレシーバーをセットしてください。

◆水平（横）ラインの場合



◆たち（縦）ラインの場合



4. 受光部でレーザー光を検出すると受光部の左にあるレシーバー移動方向指示ランプが点灯し、ブザー音が鳴ります。赤い LED が点灯している場合はその LED が示す方向にレシーバーをゆっくり移動させると中心検出ランプの青い LED が点灯し、ブザーが連続音になります。その位置がレーザーラインの中心位置です。

2.2 追尾機能の操作方法

1. マグネットアダプターをオートラインレーザー本体へ取付け、トラッキングベースのマグネットアダプター台座へ乗せます。マグネットアダプターが台座にしっかりとハマっていることを確認してください。
 2. レシーバーとトラッキングベースを電源 ON します。『2.1 電源 ON/OFF』参照
 3. オートラインレーザー本体が水平になるようトラッキングベースの整準ネジで水平にします。オートラインレーザー本体の地墨と現場の基準点が合っているか、回転スイッチを押してトラッキングベースを回転させて確認します。
 4. オートラインレーザー本体の電源を入れ、たち（縦）ラインを照射し、屋内 / 屋外（受光器）モードへ切り替えます。
 5. レシーバー本体の水平ライン用気泡管が水平になるように置き、回転スイッチで操作します。『3.3 レシーバーの操作方法』参照
 6. たち（縦）ラインがレシーバーの受光部の基準線上と一致するよう動かしします。青色ランプ（中心検出ランプ）が点灯している状態が一定時間保持すると追尾完了です。
- * 追尾動作が 1 分以内に完了しない場合は、トラッキングベースが左右に 3 回づつ回転し、同時にブザー音が鳴ります。

2.3 リモートコントローラーとしての使用方法

『2.1 電源 ON/OFF』の「3.」の後、追尾スイッチを押すと、レシーバーをコントローラーとして使用できます。（この時、追尾ランプは消灯しています。）
回転スイッチを押すと、オートラインレーザーが回転します。（回転する方向については『1.1.3 操作パネル』参照）

受光部を横切るレーザー光の位置により、次の3種類の表示で状態をお知らせします。

- a) レーザー光が基準線より上にある場合は、[⬆] の赤いランプが点灯し、ブザーが断続して鳴ります。
ゆっくりとレシーバーを上方向に移動させます。
- b) レーザー光が基準線より下にある場合は、[⬆] の赤いランプが点灯し、ブザーが断続して鳴ります。
ゆっくりとレシーバーを下方向に移動させます。
- c) レーザー光がちょうど基準線上にある場合は、[⬆] の青いランプが点灯し、ブザー音が連続音になります。

青い LED が点灯した状態でレシーバーを固定し、レシーバー本体の両側面のけがきガイド（基準線の両端にある V 字溝）を使用してけがきます。

電源を切るには電源スイッチを押します。また、無操作状態が約 10 分間続くと、レシーバーの電源が自動的に切れます。